

平成27年10月18日公開 ITパスポート試験 分析資料

株式会社ウイネット

弊社では、模擬試験ご採用校様の一部並びに弊社教材外部ライティングスタッフの皆様から、公開された試験の出題内容に関するご意見を聴取させていただき、整理及び分析を行いました。今後のご参考として、10月18日に公開された試験（以下、H27秋と表記）の分析をご報告させていただきます。

1. 分野別出題数

分野			H27秋	H27春	H26秋	H26春	H25秋	H25春
1	ストラテジ系	小問	28	31	30	30	27	30
		中間	7	3	4	5	9	5
		合計	35	34	34	35	36	35
2	マネジメント系	小問	16	15	16	20	22	21
		中間	3	4	3	5	3	3
		合計	19	19	19	25	25	24
3	テクノロジ系	小問	40	38	38	34	35	33
		中間	6	9	9	6	4	8
		合計	46	47	47	40	39	41

- (1) CBT方式（H24年春）から、小問は問1～問84の84問、中間（中間A～D）は問85～問100の16問で構成されています。分野別の出題数は、試験要綱より、100問出題中、ストラテジ系35問程度、マネジメント系20問程度、テクノロジ系45問程度と推測できます。
- (2) 100問出題中、前回と比較して、ストラテジ系が1問増え、テクノロジ系が1問減りました。

2. 大分類別出題数

大分類		H27秋	H27春	H26秋	H26春	H25秋	H25春
1	企業と法務	17	16	17	17	14	16
2	経営戦略	12	12	10	9	13	12
3	システム戦略	6	6	7	9	9	7
4	開発技術	3	3	4	8	8	9
5	プロジェクトマネジメント	8	8	6	8	8	8
6	サービスマネジメント	8	8	9	9	9	7
7	基礎理論	3	6	3	4	6	7
8	コンピュータシステム	9	10	11	10	9	10
9	技術要素	34	31	33	26	24	24
合計		100	100	100	100	100	100

- (1) 前回と比較して2問以上出題数が増えた大分類は、“技術要素（+3問）”でした。
- (2) 前回と比較して2問以上出題数が減った大分類は、“基礎理論（-3問）”でした。

3. 中分類別出題数

中分類		H27秋	H27春	H26秋	H26春	H25秋	H25春
1	企業活動	10	8	8	8	8	9
2	法務	7	8	9	9	6	7
3	経営戦略マネジメント	7	7	6	5	8	9
4	技術戦略マネジメント	1	1	0	0	1	1
5	ビジネスインダストリ	4	4	4	4	4	2
6	システム戦略	5	3	5	6	6	5
7	システム企画	1	3	2	3	3	2
8	システム開発技術	2	2	3	7	7	8
9	ソフトウェア開発管理技術	1	1	1	1	1	1
10	プロジェクトマネジメント	8	8	6	8	8	8
11	サービスマネジメント	4	4	4	6	6	4
12	システム監査	4	4	5	3	3	3
13	基礎理論	1	5	2	3	5	4
14	アルゴリズムとプログラミング	2	1	1	1	1	3
15	コンピュータ構成要素	2	3	3	2	3	2
16	システム構成要素	2	2	2	2	1	3
17	ソフトウェア	4	4	5	5	4	4
18	ハードウェア	1	1	1	1	1	1
19	ヒューマンインタフェース	1	1	0	2	0	1
20	マルチメディア	1	1	1	2	2	2
21	データベース	6	5	3	4	2	3
22	ネットワーク	8	6	10	6	8	7
23	セキュリティ	18	18	19	12	12	11
合計		100	100	100	100	100	100

- (1) 前回と比較して2問以上出題数が増えた中分類は、“企業活動（+2問）”、“システム戦略（+2問）”、“ネットワーク（+2問）”でした。
- (2) 前回と比較して2問以上出題数が減った中分類は、“基礎理論（-4問）”、“システム企画（-2問）”でした。

4. 中間A～D（問85～問100）

	テーマ	分野	難易度	コメント
中間A	アンケートの分析（表計算）	ストラテジ系2問 テクノロジ系2問	普通	表計算の関数、集合、ポートフォリオ図が理解できれば、解けた問題でした。
中間B	売上分析（表計算）	ストラテジ系3問 テクノロジ系1問	易	問92は普通の難易度であり、他の3問は図をみれば解けた易しい問題でした。
中間C	スケジュール管理	ストラテジ系1問 マネジメント系3問	やや易	アローダイアグラムが理解できれば、解けた問題でした。
中間D	PCのリサイクル	ストラテジ系1問 テクノロジ系3問	やや易	問題文に与えられている条件が理解できれば、解けた問題でした。

5. 初めて出題された用語と今後の対策

初めて出題された用語として、BCM（問7）、ブルーオーシャン戦略（問14）、DRM（問46）、マルチキャスト（問60）、IPスプーフィング（問81）などがあります。

このように、新用語は毎回出題されますが、総合で60%、各分野で30%以上得点すれば合格ですので、まずはシラバスの用語を徹底的にマスターし、過去問題及び公開問題で実践力を身に付け、類似問題は100%正解できるようにする対策が重要になります。